

## 神田警察通り周辺まちづくり検討部会分科会（西側） 議事要旨

■日 時：令和2年12月18日（金）14：30～16：30

■会 場：神田公園区民館5階洋室B

■出席者：

〔委員〕

●●部会長

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

〔事務局〕

佐藤地域まちづくり課長、地域まちづくり課、UR都市機構

### 1. 開会

### 2. まちづくりの検討について

○事務局より説明

<意見交換>

【委員】

- ・神田警察通りは賑わいを重視し、通り側には駐車場をつくらず、集約するということになっている。千代田区の福祉部が計画している福祉施設は、1階に7台分駐車場が必要とのこと。2階までは貸会議室など賑わい施設を検討しているが、具体的な詳細は決まっていないとのこと。地域まちづくり課が作った計画が活かされておらず、課ごとに意見が違う気がする。

【事務局】

- ・道路整備と賑わいで協議会をやってきて区の中でも情報共有はされている。ガイドラインの話もしている。建物の裏から入る形、当初から話をしてきた。運営事業者を早い段階で決めるのが難しいが、それらをパッケージで決めることができないか検討している。

【委員】

- ・賑わいを無理につくっているのではないか。貸会議室だけで賑わいがあるのか。

【事務局】

- ・高齢者・障害者が地域と切り離されたら良くない。そのためにも低層部の賑わい施設をどうするか考えているのだと思う。

【部会長】

- ・様々な人がいる神田だからこそ重要なテーマだと思う。何が譲れないところなのかというのでも確認していきたい。

**【委員】**

- ・景観的には、冷たい真面目なビルではなく、道路に面した顔づくりも重要だと思う。

**【部会長】**

- ・まちづくり方針の策定が進んでいく中での区の建物である。他の開発の見本になるようになってほしい。

**【委員】**

- ・前回の沿道整備推進協議会の中で街路樹やインターロッキングブロックの話がまとまりかけたが、今回のような分科会も含めある程度ゾーンごとに分けて考える必要があると思う。少なくとも沿道の町会でコンセンサスを得て、ゾーンごとに割り切って決めていかなければ議論が進まないと思う。

**【委員】**

- ・街路樹を選定するのであれば、背丈の低い、空が見えるものがよい。種類は問わない。
- ・この通りにはメインとなるものがない。ゲゲゲの鬼太郎、サザエさん、寅さんのように聖地になっているところは人が来る。生まれてから70年この通りは何も変わっていない。錦町三丁目にも計画ある。例えば、ジャニーズの野外コンサートができる等、核となって人を呼び込める場が必要。

**【部会長】**

- ・神田警察通りの目玉をどう打ち出していけば良いのか。通りに対する思い、物語について議論する必要がある。再開発の際に外から呼び込めるものがあればよい。

**【委員】**

- ・特にないかもしれない。スポーツ関係くらい。通りの名前を変える議論もあったが。

**【事務局】**

- ・「神田警察通り」が硬い名前なので変えたほうが良いという意見もあった。

**【委員】**

- ・駿河台から小川町はまさにスポーツ街。靖国通りに車を止められないので、錦町に車を置いて周っている。スポーツ関連もよいと思う。

**【部会長】**

- ・東側の分科会で、スケボーパークの場を作ることの議論があった。新しくどんな人に錦町にきてもらいたいのか。新しい人たちとの交流、接点をこのまちのどこに期待したいのか。

- ・きちんと運営することが前提。禁止して追い出すと逆に危ないことが起きるため、ルールのある場を作った方がいいのではないか、新しい開発が起こる際にそういうルールを構えておくとういのはという意見があった。

**【委員】**

- ・小川広場はバスケのリングが1個しかないが、利用頻度が高い。例えばアマチュアスポーツのメッカのような形で錦町三丁目が開発されるなら良い。

**【委員】**

- ・規制ばかりで何もできない公園にしないほうが良い。神田のビルの地下にあるボルダリングもすごく流行っている。
- ・今後こういうものができる予定はあるのか。

**【事務局】**

- ・他の開発で様々考えているものもある。上位計画にも入れていくと動けるようになる。

**【部会長】**

- ・個別の開発で実現するのは難しい。神田全体で考えたときに、色々な種類のスポーツができるというのは非常に面白いと思う。都心ではなかなかできる場所がない。様々な体験、交流ができる。2年前の社会実験ではプロ野球選手を呼んでいた。神田ならではかもしれない。

**【事務局】**

- ・秋葉原には昔、バスケができるコートを設置していた。そこでプレイすることが自慢になるとのことで、都外から来る人もいてとても賑わっていた。まさに聖地の例である。

**【委員】**

- ・神田警察通りを全部通行止めにしてイベントをやれば良い。特に土日。空間がもったいない。

**【部会長】**

- ・錦町三丁目には高校が2校もある。世代間のミックスも期待できる。

**【事務局】**

- ・高校は清掃活動にも参加してくれている。そういうつながりもよい。

**【委員】**

- ・高校生を呼んで、若い人たちの意見を聞く方がよい。

**【委員】**

- ・マンションの住民にも意見を聞いた方がよいのではないか。

**【事務局】**

- ・まさに資料にある意見聴取はそういう意味。女性の意見も重要。

**【委員】**

- ・神田は利便性が良いから来ている人がほとんど。どうやって取り込んでいくかはイベントなどを通じて情報発信していくしかない。予算や人手は常に問題だが、仕掛けをつくらないとつながりは生まれない。

#### 【部会長】

- ・仕掛けとともに、どこに何があると良いかという議論も重要である。町会の活動が加わって初めて再開発が成立するような、まちづくり方針にしていけないといけない。

#### 【委員】

- ・企業が非常に重要。責任を持ってくれるような企業はこちらからも後押ししたい。またリモートワークに戻り、夜は死んだ町になっている。新しいビルでも赤字になっている店舗があると聞いている。計画の段階で相談してくれればいいのと思う。
- ・以前、アーツ千代田 331 が神田スクエアに入って五十通りを中心にアートのまちにしようということで縁日をやったが、アーツ千代田 331 が抜けて終わってしまった。

#### 【部会長】

- ・開発の中で結実しなかった地元の意見、どういうまちかということ、地元と開発側が連携しているということの方針にも入れ込んでおく必要がある。

#### 【委員】

- ・住友商事と安田不動産が糸井重里さんをまちに連れてきてくれて、ほぼ日学校を設けたり、町会に入るといふ相談があった。自分たちだけでできないことはデベロッパーの力も借りて三位一体でやっていく必要がある。新しいものを受け入れる土壌を区がバックアップしてほしい。

#### 【部会長】

- ・企業と神田の在り方。まちに対する意識のある企業も増えてきている。どうやって連携していくかが重要。企業、行政、住民の三位一体で、行政ができないところは住民やエリアマネジメント組織が補えるといい。

#### 【事務局】

- ・地元と行政と企業をつながり、場があるだけで全然違う。広くつなげるエリアマネジメントなどの仕組みがあればいいと思う。

#### 【部会長】

- ・プラットフォームのような仕組みがあるのが重要である。大きい開発でないところはどうすべきか。

#### 【委員】

- ・入ってくる人よりも出ていく人の方が多い。先程のスポーツの話が実現する中で、店もついてくるのではないか。

**【委員】**

- ・横須賀のドブ板通りはその名だけで観光客を呼べた。今は元気がないが。

**【部会長】**

- ・靖国通りと神田警察通りの南北の行き来ができてくることで、五十通りが良くなる。大規模な再開発のふもとに、ぽつぽつと建物が残っている。色々な表情があることが五十通りのいいところ。

**【委員】**

- ・五十通りは第二のすずらん通りのように考えられる。
- ・靖国通りはちょっとした飲食店がない。裏通りにそういう店があることはいいと思う。

**【部会長】**

- ・いい飲食店は最近できたか。神田スクエアの開発で残った飲食店が、結果的に五十通りを繋ぐ機能をギリギリ保てた、という評価もある。

**【委員】**

- ・熱心なファン層を持つお店が来たことで他の店も集まってくる。アートは梯子を外されてしまったが、スポーツ等を通じて南北を繋ぎ、五十通りも盛り上げたい。

**【事務局】**

- ・周辺の駅との関係はどうか。

**【委員】**

- ・スポーツ関連は小川町駅、楽器は御茶ノ水駅、本屋は神保町駅。
- ・神保町側の再開発ビルは管理費が家賃並みに高いと聞いている。コロナでやっけていけず閉店した店がある。
- ・昔は人情味がある企業が多かった。

**【部会長】**

- ・デベロッパーがどういう企業を入れていくかについてどこまで考えているか。メッセージをどのように出していくか、また、マネジメントをどうするか。デベロッパーと地元のいい関係をつくる必要がある。

**【委員】**

- ・人がいなくなって、店がつぶれて、ではだめ。まちのポテンシャル、プライドがある。今の錦町には入っているのかわからないビルもある。鋼板塀で閉じているビルもある。店が並んでいることに意味がある。

**【部会長】**

- ・開発までの時間がかかりすぎると、その間にまちのポテンシャルが下がってしまう。空きビルや空地を一時利用するなどなるべく仕掛ける。出来上がりの将来像だけでなく、つなぎの部分も重要である。

#### 【事務局】

- ・大手町との関係はどうか。

#### 【委員】

- ・錦町一丁目は最寄り駅が大手町である。
- ・ランチで来る人もいる。昔は丸紅があり年末に30人くらい来ていた。
- ・神田の人は大手町にあまり用はない。
- ・スーパーには若いカップル、小さい子どもが多い。子どもたちが入ってきてくれる道筋をつくり、ポテンシャルがあるまちにしたい。

#### 【部会長】

- ・年明けに今日の内容をまとめた詳細方針図を示す。マネジメントなどの管理、また計画前に関する意見も出てきたので、実現に向けた仕組みのところでもとめられていくと思う。

### 3. その他

#### 【事務局】

- ・神田ルールのようなものができると企業、住民、行政にとってやりやすい。ハード、ソフトまでしっかりつくっていききたい。

### 4. 閉会